にちにちこれこうじつ
# 日日是好日

群馬県立桐生特別支援学校
令和５年　７月　３日
校長だより　No. 9

校長室横の絵画掲示スペースに、絵を一枚掲示しました。一枚だけ絵がないので、４月からずうっと気になっていました。そこで、もらい受けてきた絵を掲示してみました。すると、５年生のＡさんが絵の前を通りかかり、しばし眺めてから私に話しかけてきました。

Ａさん：校長先生、こんなのありましたっけ。
校長　：昨日、もってきたんだよ。
Ａさん：へーぇ。何の絵ですか。
校長　：赤城山と大沼だよ。行ったことある？
Ａさん：はい。やっぱり、見間違えたんじゃなかったんだ。

この絵の作者は、前橋市立荒砥中学校で長く美術科を指導されていた松井たかよ先生です。御親族からいただきました。雄大な赤城山の姿がとても気に入っています。学校にある古いアルバムを見ると、本校でも赤城山や尾瀬に行っていた時期があったようです。菱の山々で足腰を鍛え、これからいろいろな山に挑戦していけるといいですね。

なお、掲示したあとで教えてもらったのですが、校長室横の絵画スペースは、時期によって児童生徒の作品を飾るスペースなんだそうです。どんな作品がくるのか楽しみです。ちなみに、次の日にＡさんに会うと、「校長先生、あの絵、高かったんでしょう。だったら、飾って欲しい絵があったんだけど。」と話していました。

６月 23 日の放課後に、ＰＴＡ保体部主催でＡＥＤ講習を行いました。参加した保護者と職員は二班に分かれ、消防署員さんから指導を受けました。もしもの時に備え、スムーズに動けるように繰り返し体験しておくことは大切です。心肺蘇生については、コロナ禍を経験し、考え方や処置方法が変化しています。これまでの受講したことのある方も、知識や技能の維持・向上のため、次の機会には参加してみてください。

28 日に菱小との交流を行いました。本校小学部 23 名と菱小学校 4 年生 29 名は、低学年と高学年グループに分かれ、前後半でボッチャと室内ゲームを入れ替えて行いました。菱小の 4 年生は昨年の運動会にも参加しています。子ども達は、菱小の子ども達が来てくれたのがとても楽しかったようです。何より印象的だったのは子ども達の笑顔。普段よりちょっとすました様子も見られました。ボッチャでは的となる白ボールの近いところに投げられると、「オー」と敵味方の分け隔てなく歓声があがり、共に勝利を喜んでいました。すましていながらも、いいボールが投げられて、思わずガッツポーズを見せる児童もいました。学校間の垣根を超えた楽しい一時が過ごせました。

全体での開会や閉会といった時間は設けず、より自然に集まり、そして交流時間を確保できていたところが良かったと思います。次は、本校の児童が菱小に出かけます。本校の児童がどんな姿をみせるかとても楽しみです。近くの学校ですから、これからも交流の幅を広げていけたらと思います。コロナ禍を経験し、これまで行ってきた学校間交流を単に元に戻すのではなく、より意義深い交流活動を行っていきたいものです。

先週は、中学部の「作業集中週間」でした。５日間連続して午前も午後も作業を行う一週間は、中学部生が将来の姿を考えるのに大切な機会です。様子を見に行くと、ジャガイモの袋詰め、バスマットの製作、ペットボトルのラベル剥がし、キャップの分別、銅線の取り出し等を、３つの作業会場に分かれて行っていました。なかには作業にすっかり慣れ、友達と言葉を交わしてコミュニケーションを楽しみながら作業に取り組んでいる生徒もいました。廊下から見ていると、「見にきてください。」と、自分の作業テーブルまで案内してくれました。自分の仕事に自信があり、見に来て欲しいと思えるのは頼もしいですね。外で作業していた生徒は、「ここはサウナですか。」「暑いですよ。」と言いながらも、元気に活動していました。中学部の皆さん一週間お疲れさまでした。